



◎支援学級

柏市の特別支援学級は小学校95学級 中学校34学級計129学級と有ります。
特別支援学級の担任は129名。そのうち特別支援学校教諭の免許を持っている教員数は52名です。制度的に問題はないかもしれませんが、免許を持つ教員を配置すべきと考えて要望したところ、倍増計画をされました。



◎柏駅東口道路

柏駅東口のタクシー乗り場は人が車道に出て乗車する、危険な状態を指摘されている所です。改善するには駅周辺一帯の通行形態の見直しをする必要があると指摘しました。地域要望を取り入れ一帯の見直し計画を検討。

●危険道路

東口サンサン通りですが、逆走する車を日に何度も見ます。其の外にも「柏市通学路交通安全対策プログラム」に示されるように市内には危険と指摘される道路があります。対策を要望しました。



●視覚障害者に音響信号を

視覚障害者の安全を確保するために点字ブロックや音響信号機設置等の整備を推進していく必要を感じます。音響信号であれば流れてくる音によって横断等の可否を判断できます。それが無いところでは、車の音や周りの様子から安全を確認するようです。

また、視覚障害者の頼りとする盲導犬ですが、犬の目の神経細胞は、人のように色を感じる細胞が少なく信号の色を判断できず、視覚障害者の方の耳や感覚で判断します。視覚障害者・盲導犬ユーザを交通事故から守るために柏市として点字ブロックを充実させ、音響信号機設置推進を千葉県警に働きかけてまいります。

◎高齢者の運転免許証

運転免許の申請取消し(運転免許自主返納)することにより、バスの乗車運賃半額や市内タクシーの乗車割引券交付等を、実施する自治体が近隣市にあります。現状認識を踏まえ一定の評価をするものであります。

しかし、本市に於いて運転免許自主返納したくても日常の買い物、病院に行くことに支障をきたす方々への環境が整っていません。認知症の疑いを持ちながら運転する現状をお聞きすることがあります。自主返納したくても出来ない事情がここにあります。

28・29年度に交通網の見直しを進めていることは承知していますが、今この瞬間に困っている交通弱者がいます。現状を鑑みスピード感を持ち取り組む必要があると考え現状認識を促しました。



◎タワーマンション

マンションやアパートも含め空家は20年後に凡そ2000万戸との試算もあります。

タワーマンションも例外とは云えません。40年、50年先の次世代の課題でしょうが、タワーマンションを立て替えるとき、容積率に余裕のある時は床面積を増やし販売し賄う方法もあります。戸建てをマンションにする時などです。しかし、容積率を目一杯に使って建てるとこの方法は成立しません。更に適正に維持管理されないとスラム化・廃墟化の危険があります。



◎柏まつり

人出は29日(土)が33万人、30日(日)が37万人、2日間合計70万人の来場者で 賑わい楽しみ飲食をし、柏市の存在・広報に大きな貢献をしているものと考えます。しかし、トイレの不備を指摘されています。来年の開催に向け検討を要望しました。



◎伝統文化

芸術文化は、人々に感動をもたらして人生を豊かにし、社会全体を活性化する上で大きな力となり役割は極めて重要です。自然環境や・伝統文化等は一度なくすと復活が困難なものです。

柏市の伝統文化・芸術文化・歴史的建造物をどの様に捉えているのか。美術館・博物館も不備な柏市の予算処置や対応を提案しました。



◎ その他の一般質問 ◎

- * 第一種感染症指定医療
- * ドリームフラワープロジェクト推進
- * SNS利用
- * 学校水道水直結
- * AED講習
- * 基準越え放射生物質
- * 柏市児童相談所設置
- * 農業
- * 病気休業職員

活動報告

◎郵便ポスト 地域力で新たに設置

富里近隣センター隣接地に郵便ポストが設置されました。

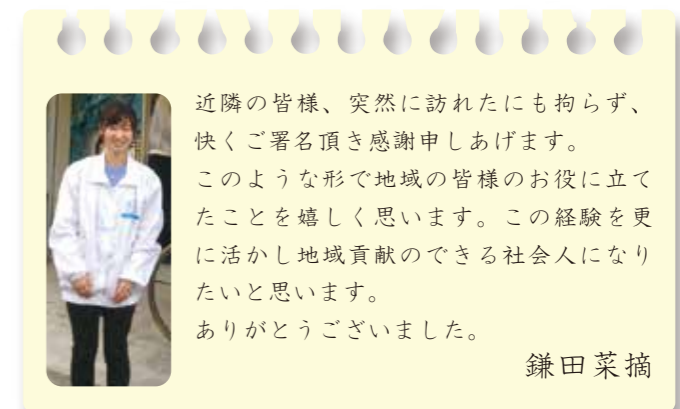
地元の岩原広也さんから、商店の閉店と共に郵便ポストが近隣からなくなり、地域住民は不便をきたしているとの連絡がありました。

私の事務所のインターンで大学生の鎌田菜摘さんは、地元の岩原広也さんを代表として郵便ポスト設置活動を展開。すると、僅か数日で500有余名の「郵便ポスト設置要望署名」を集めました。地域の方々が希求していた事が伺われました。



署名とともに柏郵便局に依頼したところ、快く受諾され設置の運びとなりました。

ご署名戴いた多くの皆様に感謝申し上げますと共に、利用することが郵便ポストの存続につながります。多くの方がご利用されることを願っています。



近隣の皆様、突然に訪れたにも拘らず、快くご署名頂き感謝申し上げます。このような形で地域の皆様のお役に立てたことを嬉しく思います。この経験を更に活かし地域貢献のできる社会人になりたいと思います。ありがとうございました。

鎌田菜摘

◎地震では！車が通ると

酒井根地区の住宅街の方から車が通ると地震ではと、道路状態の悪化を指摘され確認の連絡を戴きました。現地に伺うと、下水等の工事が数年にわたり繰り返し行われ、切り込みの跡が残る痕跡がありました。結果、ブロック塀に亀裂が入る程の揺れが続き、夜間に車が通ると目が覚めるなど、長年我慢の日々を強いられていたようです。

現地確認を依頼し、一部ではありますが改修舗装工事をしたところ、揺れもかなり軽減されたと報告を頂きました。予算の関係で全てをすぐに対策とは叶えませんが、土木部も順次取り組む姿勢です。



酒井根地区散歩の際に気が付いたこと

信号のない住宅街の標識。止まれの標識が色あせ目立ちません。通学路でもあり事故の多い交差点なので、現況確認をし、対策を依頼しました。

